

- (1991), 235.
- 20) 鉄スクラップ中のトランプエレメント分離法に関する基礎的検討, 日本鉄鋼協会高温プロセス部会循環性元素分離研究会, (1996), 125.
- 21) 周 康根, 真目 薫, 姉崎 正治: 資源と素材, 111 (1995), 49.
- 22) 鉄スクラップ中のトランプエレメント分離法に関する基礎的検討, 日本鉄鋼協会高温プロセス部会循環性元素分離研究会, (1996), 29.
- 23) 鉄スクラップ中のトランプエレメント分離法に関する基礎的検討, 日本鉄鋼協会高温プロセス部会循環性元素分離研究会, (1996), 59.
- 24) 王 潮, 平間 潤, 長坂徹也, 萬谷志郎: 鉄と鋼, 77 (1991), 353, 王 潮, 長坂徹也, 日野光元, 萬谷志郎: 鉄と鋼, 77 (1991), 504.
- 25) 鈴木亮輔, 日谷知嗣, 竹村康司, 小野勝敏: 金属('96/8 臨時増刊号), (1996), 55.
- (2000年1月7日受付)

ふえらむの窓

「技術者教育認定制度についての私見」

(元)住友金属工業 奈良 好啓

技術者教育認定制度は、日本鉄鋼協会会報「ふえらむ」Vol. 5 No. 4 2000のアラカルト欄にその内容と今後の活動について解説がなされた。私は、この認定制度の策定、運用の立場から検討した結果、早急にこの認定制度の内容を確立し実施する必要があると痛感した。

ところが、日本技術者教育認定機構(JABEE)による制度の紹介や一部の学協会の制度に対する公開討論をホームページで拝見した限りでは、この認定制度への考え方がまちまちで、内容を誤解している学協会も見受けられる。そこで、私はこの認定制度についての私見を述べて、関係者の討議をお願いしたい。また、その結果を基に日本鉄鋼協会が率先して正しい方向にこの認定制度を先導されることを希望してやまない。

認定制度のISOとの共通性

第一にこの認定制度は、大学における教育カリキュラムが一定のシステムで運用できる要因を備えているか審査する制度である。このことは、ISO9000シリーズの「品質マネジメントシステム」による品質審査登録制度と類似すると考えても良い。制度の品質向上のためにトレーサビリティや是正処置条項を具体的に規定しなくてはならない。

第二にこの認定制度は、大学が修学者に学士、修士、博士資格を与える能力を備えているか審査する制度である。このことは、ISO/IECガイドを適用した研究所認定制度と類似した制度と考えると良い。研究所が「製品」の品質証明書を発行するにあたり、計測機器の校正を定期的に実施するように、大学、学部が与える資格レベルの維持管理と改善のための要素を定期的に審査する具体的規定がなくてはならない。

認定制度の全分野での普遍性

大学教育を前提に個人に資格を与える制度に関与している学協会は、現状の資格制度を維持するために、この認定制度の設置に反対する立場にある。彼等は、資格制度に独自性があり、固有の教育方法と切り離しては論じられないと主張している。このことは、資格制度とこの認定制度を同一視しているからで、両制度を分離して考えれば解決する。この認定制度は、いかなる大学、学部にも適用できる普遍性のあるものにしなければならない。

認定制度の国際性

この認定制度の起因は、技術者教育の同等性を国際的に相互認証するワシントン協定である。ところが、ワシントン協定はアメリカを中心とした英語圏の諸国が調印した協定であって、欧州大陸の諸国は参加していない。この認定制度を世界共通の制度にするには、伝統ある欧州の大学にも適用できる認定制度でなくてはならない。

(2000年4月20日受付)